

自分・家族・地域を守るために…

防災訓練



2月25日、上野小学校を会場に市内の防災関係機関、学校、PTA及び地域住民の参加により防災訓練が実施されました。

災害時には関係機関と市民の皆さんとの連携が重要となることから、緊急時の効果的な連携、迅速な活動をめざし行われたもので、消防団員や地域住民など約700人が参加しました。

●主な訓練の内容

茨城県地方に「マグニチュード7」の大規模な地震が発生。市内でも建物の倒壊や火災等の被害が発生したことを想定し、地元大宮支団員及び上野小児童や地域住民が訓練を行いました。その他、県防災航空隊の防災ヘリによる人命救助訓練や、保護者の協力により非常炊き出し訓練が行われ、約400人分の非常食が作られました。

また、消防署員の指導のもとに、水バケツや消火器の取り扱い訓練、天ぷら油火災を想定した消火訓練や、AEDを含めた応急手当の講習のほか、火災の煙体験などを行い、参加した児童や地域住民の皆さんは、真剣な表情で取り組んでいました。



区長講話会

2月9日、区長会主催による市内施設視察研修及び講話会が行われました。

区長会は、情報交換を行い、行政と協力して地域発展をめざし活動していきます。今年度は、区制統一後最初の年度です。地域の実情を把握するため区長会の中に調査委員会と研修委員会を設置して事業を行っており、今回の視察研修や講話会もその事業のひとつとして計画されたものです。

当日は、区長67人が参加して水戸北部工業団地内の茨城グリコ(株)を視察、

その後の講話会では区長、副区長130人が市の展望について矢数市長の話を開きました。



茨城・栃木でイノシシ被害対策

野生鳥獣による農作物の鳥獣被害を防止するため、茨城・栃木両県の県境に接する地域により「茨城・栃木県境地域鳥獣害防止広域対策協議会」を設立しました。

構成市町は茨城県側で大子町、城里町、笠間市、桜川市、常陸大宮市の5市町と栃木県側が那須町、大田原市、那珂川町、那須烏山市、市貝町、益子町、茂木町の7市町計12市町です。

今後協議会では、イノシシやハクビシン等を同一時期に捕獲し、被害防止に共同して取り組み、有効な対策を講じることにしています。

森を活かしたまちづくり

2月17日、常陸大宮市森を活かしたまちづくり協議会(齋藤典夫会長 茨城大学人文学部教授)主催の公開シンポジウムが、おのみやコミュニティセンターで開催されました。

この協議会は、市と茨城大学人文学部との地域連携事業の一環で、本市の約6割を占める森林の保全・育成などを調査・研究し、暮らしの中に活かしてまちづくりにつなげるために平成18年10月に設置されました。

今回は、公開シンポジウムとして一般の方にも参加いただき、美和地域で20年間赤ちゃん誕生記念植樹事業を続けている、ピジョン(株)大敷克己氏の「育児と育樹ところは同じ」をテーマとした基調講演後、本市の豊かな自然を活かしたまちづくりについて活発な意見交換がされました。



女も男もキラリと輝く！

2月10日、市美和工芸ふれあいセンターで常陸大宮市女性活動指導者連絡協議会と常陸大宮市の主催による「男女共同参画講演会」が開催され、「女も男も輝く21世紀」と題し、漫才師の林家ライス・カレイ子さんを講師にお招きしました。

現在は、男だから・女だからの時代ではなく、互いに尊重し合い価値観を大切にしながら様々な格差をなくし、一人ひとりの意思で家庭・地域・職場などあらゆる分野に参画していける環境を作っていくことが大切です。21世紀は人間性の時代ともいえ、社会や地域、人のために頑張ることが幸せではないでしょうかと、ユーモアを交え語りかけ、会場は笑いに包まれました。

参加された方からは、「わかってい



下檜沢に残る歌舞伎舞台道具



下檜沢には、昭和20年頃まで使われていた歌舞伎舞台道具（襖絵）が保存

されており、2月16日から3日間美和山村開発センターで展示されました。

昔は、下檜沢宿里にある鎮守鹿島神社の祭礼の余興として舞台が組み立てられ、歌舞伎が演じられていました。かつては「睦会」という若衆によって保存されてきましたが、「睦会」の解散により旧美和村が保存してきました。

現在は、当時の3分の1ほどしか残っていませんが、色鮮やかな襖絵は当時を偲ばせます。

今後は、美和工芸ふれあいセンターに1組ずつ展示する予定です。

野口小学校でふれあいフェスタ



2月18日、野口小学校体育館で地域の方々と児童、保護者、教職員約180人が一堂に会して「ふれあいフェスタ」が盛大に行われました。

野口小学校区では、各地区に自主パトロールの組織が立ち上がり、地域の方々子どもたちの安全確保のための「見守り」の活動を熱心に行っています。日頃お世話になっている地域の方々に感謝し、交流するイベントとして実施されました。

子どもたちが主体になっての感謝する会、大宮警察署員の方々による防犯教室、参加者みんなでもちや豚汁などをおいしく食べた会食、地域の方々に教えていただいたの昔遊びなど、楽しく、有意義なひとときを過ごすことができました。

食改山方支部連続最優秀賞に

2月9日、那珂市総合保健福祉センターにおいて常陸大宮保健所管内食生活改善推進協議会料理コンクールが開催されました。

「野菜たっぷりヘルシーメニュー」のテーマで大根を使った料理6品が出品され、常陸大宮市食生活改善推進員連絡協議会山方支部（代表根本紀子さん）の「大根・トンステーキ」が最優秀賞に選ばれました。

地域の安全を守るため

近年増加傾向にある車上狙いや空き巣などの街頭犯罪を撲滅するため、また小・中学生などの子どもを犯罪から守るため、美和防犯連絡協議会では、美和地域の学校付近やささの湯など主要な場所での呼びかけ・見回りなどの防犯活動を実施しています。

今後も、犯罪を発生させない、犯罪被害に遭わせない地域防犯活動を実施しますので、市民の皆さんもご協力をお願いします。



▲ささの湯での活動